

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] Scarred Organizing Pneumonia (Cicatrical variant of cryptogenic organizing pneumonia)における臨床像の検討 (多施設共同)

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

[研究の背景] 特発性器質化肺炎は特発性間質性肺炎の一亜型で、多くはステロイド療法によく反応して治癒します。ですが、一部の症例では病理組織学的に器質化病変が癒痕化して、肺が固くなる線維化が進行することがあります。これらの癒痕化する器質化肺炎(Scarred OP)がどのような特徴を持つのか、現時点ではわかっていません。

[研究の目的] 外科的肺生検を行った症例を検討することで、癒痕化する器質化肺炎の特徴を明らかにして、そのような患者さんの治療効果や予後を予測することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院にて、外科的肺生検を受けられ、慢性線維性間質性肺炎および器質化肺炎と診断された患者さんのうち、2016年1月1日から、2018年7月31日の間に、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 病理診断科に相談を依頼した方を対象とします。

●研究期間：当院倫理委員会の承認後 2019年9月30日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体：以前に、同意をいただき、病理診断の相談のために長崎大学へ送付した標本化された肺組織検体の一部。

カルテ情報：診断名、患者さんの背景(年齢、性別、喫煙歴など)、身体所見、検査結果(病理組織検査、血液検査、画像検査、肺機能検査、6分間歩行試験、気管支鏡検査)。本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

●検体や情報の管理

検体である肺組織標本は、以前にご同意をいただいた後に、長崎大学大学院 病理診断科へ送付され、保管されています。カルテ情報は、上述の必要項目のうち、収集可能なものをデータとして抽出し、研究代表者機関である長崎大学大学院 病理診断科にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- 研究代表者（研究の全体の責任者）：長崎大学大学院 病理診断科 福岡順也
- その他の共同研究機関：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡健介
大垣市民病院 呼吸器内科 白木晶
国立長寿医療研究センター 呼吸器内科 西村浩一
済生会福岡総合病院 呼吸器内科 古山和人

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供元である片岡健介が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139